学校番号	1206

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	自己表現(美術編Ⅱ)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで学んだことをもとに、デッサン・色彩・立体など幅広い分野の作品制作に取り組みます。
・自ら主題を決定し、得意な表現方法で主体的に制作を進めていきます。
・制作途中や完成後に振り返りレポートの作成や相互鑑賞を行い、作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的な表現活動ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・造形的な良さや美しさ、表現の意図、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性と美意識を高め、美術文化についての理解を深め、心豊かな生活や社会を創造する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。	・感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的な表現の発想や構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。 ・創造的な美術表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すことができる。 ・感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的な表現の発想や構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	・美術の幅広い創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	絵画	デッサン 「球体」 「自由制作」	a:デッサンに必要な技能を身に付けている。 b:部分と全体を考えながら、立体感や奥行き、陰影を正しく表現している。 b:表現の工夫を感じ取り、互いの作品について理解を深めている。 c:自ら主題を生成し、主体的に粘り強く取り組もうとしている。	構図 画材の使い方	作品の完成度	活動中の様子 振り返りシート
後期	彫刻	木彫 「抽象立体」	a:抽象表現について理解しようとしている。 b:テーマに沿って自由に発想し、スケッチを重ね、構想を練っている。 b:素材を生かし、表現方法を工夫している。 c:立体制作に関心を持ち、主体的に粘り強く取り組もうとしている。	作品の構想段階 ワークシート	ワークシート 作品の完成度	活動中の様子 振り返りシート
	鑑賞	日本と世界の美術について	a:日本や世界の歴史ある表現に関心を持ち、美術文化を理解しようとしている。 b:作者の心情や、意図、表現の工夫などを感じ取った上で、自身の判断や思いをまとめたり発表したりすることができる。 c:歴史ある芸術作品の表現に関心を持ち、美術文化を理解しようとしている。	調べ学習用ワークシート	まとめ用ワークシート	活動中の様子 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度